浴風会主催のシンポジウム（11月30日）

浴風会

12 月号

平成 30 年 12 月 1 日発行
【発行者】〒 168-8510
東京都杉並区高井戸西 1-12-1
社会福祉法人　浴風会
京極　高宣
ＴＥＬ（代表）03-3334-2101
http://www.yokufuukai.or.jp/
【編集者】露口　長
【印刷所】株式会社サイド・ビー

輝ける夕暮を共に

社会福祉法人野の花会　理事長
吉井淳二美術館　館長
吉井　敦子

私は昭和46年より30数年南荻窪で暮らしました。家から20分位歩くと緑深いまるで別世界と思えるような広大なエリアが地域の人から聞いていた浴風会でした。昭和63年に郷里鹿児島で社会福祉法人を設立、「福祉に文化を」を理念として50床の特養からはじまり、現在9施設35事業を薩摩半島の西南端、南さつま市と桜島を眼前にのぞむ鹿児島市与次郎で運営させていただいています。福祉の仕事に携わってから浴風会認知症介護研究・研修センターで認知症やユニットケアについて学ばせて頂きました。

下の写真は平成29年全国老人福祉施設協議会のフォトコンテストで優秀賞を頂いた作品です。地元誌にもカラーで大きく報道され多くの励ましの言葉を頂きました。ご入居のお客様と介護福祉士が手をつないだシルエットは二人が深い信頼のうちにあり喜び・生命の尊さ、尊厳ある日々をご理解頂いたのだと思っております。

介護福祉士の仕事は厳しいものですが、多くの感謝も頂く価値ある仕事です。志して15年信頼して頂いているという思いはつないだ手と手に熱く伝わり力となり使命を果たしてこれたのだと思います。「輝ける夕暮を共に」は野の花会の思想です。老いに直面しながらも「美しい夕映え」「輝ける夕暮」は全てのお年寄りの憧れです。私たちはその願いを受け止め真心と手をつくして豊かな老いの実現に日々努力しております。

アルテンハイム（特養）を創設して30年。私達は創設時より抑制拘束なしの介護を当たり前としてきました。特養、老健、グループホーム、リハビリクリニックなどでは抑制拘束なしでケアできます。人間の尊厳を思う時それは当たり前のことです。

平成2年より尊厳ある終末期と看取り、その後も法人内クリニックの医師の力を借りて「胃ろう離脱」や「経口移行」に取り組み、平成23年には時間は掛かりましたが「日中オムツゼロ」を達成、スタッフの労力軽減のために理事長が決断して先端をいくテクノロジーや福祉用具を積極的に導入して、スタッフはそれを使いこなしながらも人間としての「真心とやさしい手」を忘れないように日々励んでいます。当法人老健では離職率低下へつながっています。

浴風会はこれからも先進的な福祉の理論を展開されている京極高宣先生のもと、さらなるご発展を元杉並区民としてお祈り申し上げます。

夕映えにたたずむ
（アルテンハイムより車で10分の小高い丘で撮影しました。私達の南さつま市は薩摩半島の西南端、東シナ海に面する小さな町です。）

「死ぬことから考える尊厳のある医療・ケア」シンポジウム

浴風会ケアスクール　校長　服部　安子

11月30日、有楽町朝日ホールにて、“「死ぬ」ことから考える・尊厳のある医療・ケア“ と題して浴風会主催のシンポジウムが開催されました。

本シンポジウムは、人はその終末期に、どのような尊厳のある医療やケアを受けることが可能なのか、生き方と死に方について、参加者と共に学び、考えていくという趣旨のもとに、全国生活協同組合連合会から助成金をいただいて企画したものです。

第Ⅰ部の基調講演では、特養芦花ホームの石飛幸三先生から「尊厳のある終末期の迎え方」と題して、平穏死こそ人の終末であり、超高齢社会において社会の問題として考えていくことも必要であると示唆されました。

第Ⅱ部では、「笑顔の終末期」として4人の著名人のリレートーク、まず当会の山口晴保センター長が「笑顔で長生き、認知症でご臨終」、2番目の医療法人アムス理事長の太田秀樹先生は、「家で天寿をまっとうする方法」、3番目の医療法人大誠会内田病院理事長の田中志子先生は、「拘束ゼロの医療でハッピーエンドオブライフケア」、最後は、当会の雨宮志門診療部長が「浴風会で笑顔の終末期を目指す」と題して、それぞれ講演いただきました。

第Ⅲ部のソノール東京によるミニコンサートではホワイトクリスマスなどが演奏されました。参加者は約650名と盛況で、様々な講演を皆様熱心に聞き入っておられ、一つの講演が終わるたびに盛大な拍手が送られました。

叙勲を受けて

常任顧問　露口　長

この度、平成三十年秋の叙勲に際し、瑞宝小綬章を授与される栄誉に浴しました。

叙勲は十一月三日に発令され、十一月七日にその伝達式が行われました。前日の雨は上がり、まさに澄みきった秋空に恵まれました。十時半に厚生労働省集合、二階講堂に中綬章及び小綬章の受章者・配偶者五十名が指定の席に着き、十一時すぎ、大口善徳厚生労働副大臣から、受章者一人一人を回られ勲記・勲章が手渡され、終わりにご祝辞をいただきました。

受章者一同は、別室に移り昼食をとった後、他の会議室で授与された受章者等とともに二十台のバスに分乗し、午後二時過ぎ皇居坂下門に到着。宮殿東庭で暫し待機した後、拝謁の場である長和殿「春秋の間」に進みました。

三時半、天皇陛下がお出ましになられ、ねぎらいのお言葉を述べられた後、受章者及び配偶者の間を会釈されながら回られました。拝謁が終わり、班に分かれて記念撮影が行われ、長い緊張の一日が終わりました。

顧みますと、厚生労働省には昭和三十六年四月に入省しました。国電有楽町駅を降りて、日比谷公園を横切り、厚生省（旧海軍省庁舎）まで歩いたあの日を今も忘れません。配属されたのは生活保護法を所管する社会局保護課で、爾来三十八年、生活保護、身体障害者福祉、老人福祉行政事務のほか、国会政府委員室にも出、また、鹿児島県で国民年金行政、そして最後は国立身体障害者福祉センターの現場で仕事をさせていただきました。この間、身体障害者福祉モデル都市、身体障害者療護施設、通所授産施設、老人保健施設制度の創設（モデル七施設の指定、施設整備の初年度実施計画等）及び鹿児島県国民年基金の立ち上げ等に担当者として携わることができました。

退官後は、縁あって歴史と伝統ある浴風会に十五年もお世話になることとなりましたのも大きな財産です。

本当に、多くの先輩、同僚、関係者の導きもあっての光栄であり、感謝のほかありません。これからも皆様のご厚情に報いるよう、微力を尽くす所存ですので、変わらぬご厚誼を賜りますよう、お願い申し上げます。本当に有難うございました。

最後に一言―「知ったふりして迷うより、まずは一から学ぶこと。今日という日は残りの人生の中で一番若いのだから」。先日東北復興の旅に出たとき、「那須温泉神社のおみくじ」に書かれていた言葉です。

露口長常任顧問の叙勲を祝う

理事長　京極　高宣

私ども浴風会の常任顧問の露口長さんがこの度、秋の叙勲を授与されました。本会の事務方では、故浅野善孝さん（当時浴風園長・常務理事）に継いで14年振りの栄誉です。旧厚生省の事務官としての実績及び浴風会での活躍等が評価されたものでした。本会として約40名の幹部職員・OB等によるお祝い会が去る11月26日吉祥寺第一ホテルで盛大に開催されたことをご報告します。

社会福祉法人の会計監査を受嘱した雑感

東京さくら監査法人 代表　末川　修

●はじめに

東京さくら監査法人代表の公認会計士の末川修と申します。平成29年4月からスタートした社会福祉法人の会計監査を、浴風会を含め11法人担当しています。今日まで1年半余り業務に携わってきました。

社会福祉法、指導監査等が大幅に改正され、「措置から経営」「責任と権限」「罰則規定」等、経営の自主性が重要になり、「経営」「管理」の優劣により、生き残れる勝ち組や、逆に、身売り、合併等の負け組に選別されていくと予想されます。この度、社会福祉法46条以下で、解散及び清算並びに合併について条文化して整備していることは、重要なサインです。このことは皆様、会計監査人設置の有無に関わらず、「経営」「管理」機能を強化し、競争で勝ち組にならなければなりません。会計監査とはその1つのツール手段とお考えいただければと思います。

●会計監査とは

会計監査について、皆様よく誤解されていると感じます。指導監査における会計伝票のチェックをイメージされることが多いと思います。担当官が会計伝票を1枚1枚見て、金額・会計科目・相手先・内容等が別の書類と合っているか否かチェックすることに終始していますので、このような業務をするのだろうと思われますが、これは間違いです。「内部統制」という言葉をよく聞かれるかと思います。内部統制というのは、簡潔に申し上げると経営管理の仕組みです。きちんと経営管理の仕組みが出来上がっているのであれば、その仕組みからアウトプットされた決算書の信頼性はとても高いです。逆に経営管理の仕組みがぐちゃぐちゃだと決算書の信頼性は？？ということになります。会計監査においては、内部統制をみていくことがとても大事になっていきます。

●会計監査を通じての小職の雑感

皆様の役立つ情報を、社会福祉法人監査を通じた雑感というかたちでまとめました。以下3点述べさせて頂きます。

1．新会計基準への対応が十分でないことがあること

初めて会計監査を担当して、新会計基準に対応した項目「徴収不能引当金」「賞与引当金」「退職給付引当金」の3つの引当金や、「減損会計」の検討にやや甘い対応がありました。

2．社会福祉法人の内部統制のあり方に特徴があること

各拠点を回って、内部統制の運用状況をチェックしていますが、同一法人であっても拠点毎に内部統制の運用状況が異なることが見受けられます。本部機能の強化と、法人内でのマニュアル等の共通化、内部監査制度の強化は大きな課題と感じています。

3．会計監査に対する理解が法人によって異なることがあること

会計監査の最終的な成果物は監査報告書1枚です。監査報告書にサインするのみですから、個人の会計士でもできます。監査報酬も、20万円で引き受ける会計士もいると聞いています。

会計監査を受嘱した者は、その証拠たる監査調書を整理保存することがルールで定められています。会計監査は、複数拠点の往査と事務所での業務と、常識的に年間延べ40～60日程度の日数が最低でも必要になります。仮にやるべき会計監査業務を実施していなかったことが判明した場合、選任した法人側、会計監査人側ともに責任問題が起きる場合があります。会計監査人は仕事を通じて監査先から信頼を勝ち得、会計監査の意義についてさらにご理解いただけるように誠心誠意取り組む必要があると感じております。

浴風会の動き（11月）

霊友会福祉センター様より寄贈いただいた車椅子

【本部事務局】

10日　「第4回福祉法人経営学会」理事長等幹部10名参加。

13日　「霊友会福祉センター」様より第二南陽園在宅サービスセンターへ車椅子2台を寄贈（右写真）。

16日　東京都共同募金会様より当会の長年に亘る募金活動に対する感謝状を授かる。

東京医科歯科大学看護科学生14名見学。

21日　全体研修「権利擁護」について。講師：池田恵理子氏（社団）あい権利擁護支援ネット代理理事。

27～29日　監査法人による拠点監査（病院、老健くぬぎ）

30日　浴風会シンポジウム開催（別記参照）。（浅井）

浴風会ケアスクール Caféオレンジリボンウッド

2日　豊島区受託事業「豊島区ケアマネ対象4回連続スキルアップ研修」定員60名。講師：渡部律子氏、加藤充良氏、國安眞理氏、谷澤隆子氏（職員）服部。

5日～毎週月曜日　「介護職員初任者研修」12期生・19名・講師：瀧浪美也子氏（職員）山本、阿部、廣中、合谷、毛利、宇田川、山内。

6日　豊島区受託講座「第2回認知症スクール」参加者34名。講師：（職員）服部。

10日　「特別区職員互助組合介護講座」働きながらできる家庭介護～食事・着脱・排泄編～すぐに役立つ介護のコツ～参加者15名。講師：柳澤幸江氏、関口久美子氏。

12日　「cafeオレンジリボンウッド」開店。来店者48名。**次回は12月10日（月）皆さまのご来店をお待ちしております。**

30日　全国生活協同組合連合会助成事業「『死ぬ』ことから考える尊厳のある医療・ケア～著名な実践者のリレートーク～」会場・有楽町朝日ホール、参加者650名。（鈴木）

【老人福祉事業】

浴風園（養護老人ホーム）

1日　公益社団法人日本動物病院協会の皆様がアニマルセラピーボランティアとして来園されました。心待ちにされている方も多く、今回も様々な芸に大きな拍手が送られながら皆様笑顔で参加されていました。

28日　コミュニティホールにて「衣料品展示会」開催。秋冬物を中心に、皆様お好みの物を選びながら買い物をされていました。付添の職員に相談しながら選ばれる方もおり、各々楽しみながら買い揃えられていました。（宮﨑）

松風園（軽費老人ホーム）

6日　「クラブ発表会」実施。大ホールにてフォークダンス、カラオケ、コーラス、民謡、和太鼓の各クラブの皆さんが日ごろの練習の成果を発表して下さいました。また、写真や墨絵などのクラブ作品のほか、個人の力作を廊下にも展示していただき、来訪された方も足を止めて見入っていました。

28日　「全軽協　第8回全国職員研究実践発表大会」。日常ご参加いただいている施設内機能訓練について、導入からこれまでの取組みのほか、お元気な活動の様子などをご紹介し、ブロック代表賞を受賞しました。（宮中）

浴風会ケアハウス

10月31日　町会の皆様と東京消防庁の皆様のご協力を頂き、「浴風会総合防災訓練」を実施致しました。日頃の防災を見直す良い機会となりました。

13日　今回の歩こう会は、赤坂の迎賓館を見学しました。多くの方にご参加頂きました。

20日　高井戸東小学校4年生の生徒さんが来園されました。世代を超えた交流の機会となりました。（隈本）

【介護保険事業】

南陽園（特別養護老人ホーム）

10月28日　「冬物衣料展示会」。たくさんの衣料品や日用品のなかから、好みのものを買われていました。

11月は「フロア別家族懇談会」を開催しました。第三者評価の報告やフロア目標の中間報告などを行い、ご家族からも率直なご意見をいただきました。いただいたご意見は今後に活かしていきたいと思います。（丸山）

南陽園在宅サービスセンター（認知症対応型通所介護）

当センターでは、『元気高齢者地域活躍推進事業』のセミナー参加者の就業体験を4名受け入れました。ご利用者とのコミュニケーションやデイサービスでの活動を体験していただきました。

構内の木々が紅葉し、落葉し始めました。お天気の良い日にはご利用者と散歩して、季節を感じていただいております。

今後も、季節に合わせた活動を取り入れ楽しんでいただき、地域の皆様のご理解・ご協力に感謝しつつ、より良いサービスが提供できるよう努めて参ります。（徳増）

★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽にご連絡下さい。（徳増・工藤）

◎電話03―3334―2743

第二南陽園（特別養護老人ホーム）

4日　「3階フロア家族会」を開催。また、同日に衣料展示会を行い、ご家族と一緒に衣類を選ばれていました。

24日　初めてのボランティア「ふうりゅう」の方々が、2階に来られました。歌や踊りがあり、ご利用者の皆様に楽しんで頂きたいという思いが伝わり、ご利用者も手足を動かされたり、最後には涙を流されたりされる方もいらっしゃり、とても楽しい時間を過ごしま

した。

26日　杉並区保健福祉部管理課、及び防災課から4名のご出席の下「福祉救援所立ち上げ訓練」を実施しました。

11月は角笛幼稚園の園児の訪問があり、素敵な歌とメッセージカードをプレゼントしてくださいました。（山崎）

第二南陽園在宅サービスセンター（通所介護、介護予防通所介護）

11月になると、手芸にプラスティックのリングを使ったキーホルダー作成が始まります。糸の巻き方にコツが必要で、1年振りの作業で思い出すのに大変だったと仰る方もいました。来年の干支・イノシシのチャームを付け、キーホルダーやストラップに使えます。杖やカバンに付けたり、ご家族にプレゼントしたとのお声もあります。（尾滝）

★見学申し込みやデイサービスへの質問やお問い合わせは随時受け付けています。
◎03―3334―2140

第三南陽園（特別養護老人ホーム）

6日　「ちひろ美術館・東京」へバスハイク。美術館はバリアフリーになっており、車いすを使用するご利用者も安全にゆったりと過ごすことができました。美術館の中にある図書室では、絵本や写真集などをみて、「素敵ね。懐かしいわね」と話されていました。

20日　「江戸東京たてもの園」へバスハイク。小金井公園のオレンジ色に染まった木々をみて紅葉を楽しまれ、たてもの園では、タイムスリップして昭和の懐かしい街並みや、茅葺きの民家やかまどをみて「昔の私のうちはこうだったわ。あなたは若いから知らないわよね。」などとスタッフとの会話が弾んでいました。2日間で37名のご利用者が秋の小旅行を楽しまれました。（谷口）

グループホームひまわり

22日　「味噌作り」。茹でた大豆を皆様に潰して頂き、塩と麹を混ぜて樽に詰めました。「昔は作ったけど、最近はもう作らなくなった。また味噌が作れるなんて」と話される方もいらっしゃいました。自家製ならではの味になるように、数ヶ月熟成させますが、出来上がりを今から心待ちにしています。

26日　「餅つき」。ひまわりのテラスにて餅つきをしました。「よいしょ～！」との掛け声や手拍子に合わせて、皆でお餅をつきました。つきたてのお餅にあんこやきなこを絡ませ、美味しく頂きました。（村下）

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

杉並区では、高齢者をサポートする事業として、地域のボランティア（あんしん協力員等）が見守りや声掛けをするたすけあいネットワーク（地域の目）を行っています。区内20か所の包括単位で、毎月、連絡会を開催しています。今年度、高井戸では、自分たちの地域を知ろう！ということで、4地区に分かれ、地域の事業所の協力のもとマップ作りに取り組みました。それぞれが気になるところ等を盛り込んだステキなマップが出来上がりました。地域で暮らしていながら、歩いてみて初めて知る発見もあったようです。今後は、その地図をどう活用して行こうか？と思案中です。

今後も、お互いに自分の住む地域の人やモノに関心を持ち、“お互いさま”という気持ちが広がる地域づくりを一緒に考えていきますので、どうぞよろしくお願いします。（尾関）

杉並区地域包括支援センター
ケア24高井戸
◎電話03―3334―2495

【病院事業】

浴風会病院

年末年始は12月29日から1月3日まで一般外来は休診となります。感染症が流行する季節となりました。インフルエンザやノロウィルス等の感染予防の為に、こまめな手洗いとうがいを心がけましょう。（中澤）

◎03―3332―6511（代表）

老健くぬぎ（介護老人保健施設）

20日　2階入所フロアで「焼き芋会」を実施。ご利用者の方々に新聞紙・アルミホイルに包んでいただいたものを厨房で焼き、おやつの時間に提供しました。屋外での野焼きが禁止されてからは、昔ながらの風景は見られませんが少しでも季節を感じていただけたようです。

14・30日　演奏ボランティアによるコンサートを開催しました。14日はギター演奏、30日は定例のフルート演奏でした。ご利用者も毎回の演奏を楽しみにされていました。

今年度は杉並区内に特別養護老人ホームの新規開設がいくつかあります。くぬぎを利用しながら待機されていた方々も入所されました。その関係もあり、比較的早くご利用いただける状況です。医療機関退院後のリハビリや寒い時期の一時的なご利用などご相談がありましたらお気軽にお問い合わせください。（森屋）

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。
◎03―5336―7701（代表）
◎03―5336―7734（入所）
◎03―5336―7704（デイケア）

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

2～3日　認知症地域支援体制推進合同セミナー（243名受講）
5～6日　認知症三昧！山口塾（72名受講）
5～9日　認知症介護指導者フォローアップ研修（14名修了）
7～8日　第10回認知症地域支援推進員研修（福岡市・110名修了）
13日　ひもとき研修実践者コース（31名受講）
19日　全国運営協議会（名古屋市）
26日～　第3回前期認知症介護指導者養成研修（23名受講・12月14日迄）
29～30日　第11回認知症地域支援推進員研修（名古屋市・修了者数次号報告）
＊第9回認知症地域支援推進員研修修了者数119名（村上）

浴風会病院　診療案内　⑱

浴風会病院の今後

事務局長　君島　淳二

当院には入院病床が２５０床ありますが、そのうち１００床は平成２７年７月より「地域包括ケア病床」として届出ています。これは在宅への生活復帰支援を行う病床、ということです。患者様の生活する能力を最大限活用するにはどうしたらよいかを専門家たちが集まって考え、在宅での生活を前提にサポートするということです。これを「ときどき入院、ほぼ在宅」という標語にして、今、日本全国でその取り組みが盛んに行われています。ときどき入院ということは、病院が治療する場所から、サポートを繰り返し行い健康づくりのお手伝いする機能をもった場所へと変貌してきていることの証（あかし）です。

平成２８年度の杉並区が行った高齢者実態調査によると、「今後やってみたいことはなにか」という問いかけに、１位は５割を超えて「健康づくり」と回答しています。２位が趣味やサークル活動です。ところが、４割以上の方が「特にない」と答えていて３位に入っています。１０年前の同じ調査では１割にも満たなかったのに約４倍に増えています。やりたいことが見つからず不活発な生活を続けて虚弱な状態（これをフレイユと言います。）になっているのではないかと、地域の皆様のことが気になります。

やりたいことが特にないと答えた方はぜひ当院で健康診断を受けていただき、ご自身の健康に関心を持つことをお勧めします。検査の結果が良好ならば、なにかやってみようかという気持ちになります。そして、少し気になるところが見つかったなら、ぜひ、当院を受診し、専門家のサポートを受けてください。ご自身のからだを知ることは安心につながり明日への活力を生みます。「ほぼ在宅」という地域の皆様の期待に、私共スタッフは応えてまいりたいと思っています。

平成２９年４月より「浴風会病院診療案内」と題し、院長をはじめとする医師、スタッフがリレー方式で担当科の紹介などを１８回にわたり掲載してまいりましたが、今回をもってひとまず終了とさせていただきます。これまでお読みいただきました読者の皆様に御礼申し上げます。

お問合せ　浴風会病院　０３-３３３２-６５１１（代表）

●訃報

当会前会長で**名誉会長山下眞臣氏**には、去る11月26日、病気療養中のところ、91歳にてご逝去になられました。平成15年7月から27年5月まで会長に、27年9月から名誉会長に就任され、15年の長きにわたり当会発展のためご尽力いただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

当会会長の近藤純五郎氏には、去る11月20日、75歳にて急逝されました。平成15年11月から当会評議員に就任、22年7月理事に、27年6月から会長に就任され、15年の長きにわたり当会発展のためご尽力いただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

ご芳志

平成30年10月16日から平成30年11月15日

多くの方々よりご芳情をいただきました。ありがとうございました。

〈金品・物品〉

林　泰様、宮沢　郁子様、学校法人古屋学園様、株式会社中村屋様、霊友会福祉センター様

●ほか、各施設にもいただいております。

【ご意見をお寄せください】
〒168-8510※住所なしで届きます
機関紙「浴風会」編集部係
soumu2@yokufuukai.or.jp
http://www.yokufuukai.or.jp/